

**川越市産業振興ビジョン（令和４年度～令和７年度）
数値目標の進捗状況【令和７年度】**

基本目標１ 中小企業支援による持続化と就労環境の整備による雇用の安定

(1) 進捗状況及び傾向

項目		基準値※1	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
進捗状況及び傾向		(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R7)
創業支援件数 (件／年)		366	283	311	327※2	367※2	390
	単なる件数の確保から、より質の高い伴走支援へとシフトしていることにより、目標未到達となった。						
開設事業所数 (件／年)		229 (H27)	202 (R2) ※3	202 (R2) ※3	202 (R2) ※3	202 (R2) ※3	265
	コロナ禍の影響を強く受けた時期であったこと等により、基準値より悪化した。						
川越しごと支援センターでの 就職件数／紹介件数（％）		12.2	14.8	15.6	17.9	16.3	17.0
	有効求人倍率が高い状況下で、紹介件数・就職件数ともに増加しており、目標には届いていないものの、基準値より改善した。						

※1 川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

※2 （内訳）川越市30件、商工会議所53件、創業支援ルーム41件、創業・ベンチャー支援センター埼玉169件、日本政策金融公庫74件

※3 最新の値である経済センサス活動調査（R3）の値を掲載。

(2) 現状と今後の方向性

【基本施策１ 中小企業の経営基盤の強化】

現状は、中小企業者の経営の安定や向上を図るための中小企業事業資金融資、経営相談による資金繰りや開業についての相談対応、市内事業者の円滑な事業承継による商業の振興を図るため事業承継店舗改修等補助金の交付、創業に関する相談窓口の設置及び創業支援に関するセミナーの開催などを実施している。また、川越商工会議所と市が共同で作成している「経営発達支援計画」に基づき、川越商工会議所が経営発達支援事業を実施するなど、さまざまな形で中小企業に対する支援を行っている。

今後は、創業支援事業については、コエトコやりそなコエドテラスの開設、「川越市内における創業支援等に関する事業連携協定」の締結など、創業の機運が高まっていることから、創業支援事業者と連携を図りながら積極的に各種事業に取り組んでいく必要がある。その他の事業についても、さらに活用されるように制度の周知や見直しを行いつつ、社会経済情勢及び国や県の動向などを注視しながら、継続して中小企業の支援を行う必要がある。

【基本施策２ 求職者の支援と就労環境の整備】

現状は、川越しごと支援センターだけでなく、埼玉労働局及び埼玉県等との連携による職業相談や職業紹介の実施及び就職面接会の開催、対象を絞った就労支援セミナーの開催による職業能力の向上や開発の支援、地元で働きたい市民や学生に対する求人情報等の提供や地元企業との就職面接会の実施などにより求職者の支援を行うとともに、中小企業退職金共済掛金補助事業をはじめとする勤労者の福利厚生促進、労働法や労働安全衛生に関する知識の普及・啓発に係るセミナー等の開催により、就労環境の整備を行っている。

今後は、川越しごと支援センターが実施する事業の充実を図るとともに、埼玉労働局及び埼玉県等の関係機関との連携により、求職者や勤労者のニーズを踏まえた事業等を行う必要がある。

【基本施策３ 多様な働き方の支援】

現状は、労働者協同組合（ワーカーズコレクティブ、ワーカーズコープ）に関する相談や埼玉県及び関連団体との連携によるセミナーの開催による労働者協同組合の設立支援、「川越市キャリア&ライフサポーター共同宣言」の登録制度の新設及び企業の登録やワーク・ライフ・バランスセミナーの開催によるワーク・ライフ・バランスの推進などにより、多様な働き方の支援を行っている。

今後は、「川越市キャリア&ライフサポーター共同宣言」の登録企業を増やすことでワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、それぞれの事業について制度の周知を行いつつ継続して実施するなど、多様な働き方の支援を行う必要がある。

基本目標２ 商店街の魅力の向上とにぎわいの創出

(1) 進捗状況及び傾向

項目		基準値※1	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
進捗状況及び傾向		(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R7)
小売業商品販売額 (百万円／年)		347,887 (H28)	329,104 (R2)	329,104 (R2)	329,104 (R2) ※2	329,104 (R2) ※2	347,887
	コロナ禍の影響を強く受けた時期であったこと等により、基準値より悪化した。						
中心市街地の空き店舗数 (箇所／年)		75	73	82	87	95	60
	空き店舗への出店はあるものの、物価高騰や後継者不足等による廃業も生じており、基準値より悪化した。						

※1 川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

※2 最新の値である経済センサス活動調査（R3）の値を掲載。

(2) 現状と今後の方向性

【基本施策１ 商店街と個店の活性化】

現状は、商店街振興促進補助によるイベント実施に係る費用負担の軽減及び商店街の賑わいの創出、共同施設の新設・改修及び街路灯電気料の一部補助による商店街地域の安全・安心な街づくりへの寄与に加え、空き店舗の改修に係る経費や賃借料の補助による新規出店及び空き店舗利活用の促進などに取り組んでいる。

今後は、商店街が主体的に取り組むことができるような共同販売事業等に対する支援、老朽化が進んでいる共同施設の計画的な改修、空き店舗情報の収集に努めることで、効果的かつ効率的な商店街の運営及び個店の活性化を支援していく必要がある。

【基本施策２ 魅力ある商店街の形成】

現状は、共同販売促進事業に係る費用負担の軽減による商店街の賑わい及び魅力の創出、ホームページ作成に係る経費の一部補助による商店街のＩＣＴ化に係る費用の負担軽減及びこれに伴う商店街の積極的な情報発信の推進、各商店街が抱えるさまざまな課題に関する各種補助制度の案内などに取り組んでいる。

今後は、商店街の主体的な取組への支援や情報提供、県の支援策に係る積極的な周知及び申請等に係る支援を行うとともに、商店街側の実態や消費者ニーズの把握に努めるなどにより、さらに魅力ある商店街の形成に向けた支援を行っていく必要がある。

【基本施策３ 効果的な支援に向けた取組】

現状は、国や県などの各種支援制度について、市が積極的に周知し、申請書類の作成の支援を行うなどにより支援体制の強化を図るとともに、商店街振興促進補助に係る事業等に取り組んでいる。

今後は、こうした情報を分かりやすく伝えられるよう、市ホームページのレイアウト変更やメール、ＳＮＳを有効活用した周知についても検討するとともに、商店街振興促進補助の活用など、国や県などの関係機関とも連携を図りながら、効果的に支援していく必要がある。

基本目標3 企業誘致の推進等による産業競争力の強化

(1) 進捗状況及び傾向

項目		基準値※1	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
進捗状況及び傾向		(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R7)
企業立地支援事業所の累計数（事業所）		8	8	8	10※2	13※2	10
	奨励金制度の拡充等に伴い、目標値を達成した。						
ものづくりブランド認定の累計数（件）		45	47	49	51※3	53※3	70
	主要な製品・技術の認定が概ね完了していることにより、目標値に届いていない。						

※1 川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

※2 （内訳）H24：4事業所（3社）、H29：1事業所、H30：1事業所、R1：2事業所、R2～R5：なし、R6：2事業所、R7：3事業所

※3 （内訳）H25：12件、H26：7件、H27：7件、H28：5件、H29：5件、H30：4件、R1：2件、R2：1件、

R3：2件、R4：2件、R5：2件、R6：2件、R7：2件

(2) 現状と今後の方向性

【基本施策1 企業誘致の推進】

現状は、川越市企業立地奨励金等交付制度や川越市工場立地法地域準則条例による市内への立地条件の向上を図る取組に加え、企業立地相談窓口の一元化、本市の牽引産業の分析と経済波及効果等の定量的な分析及び評価、市内外企業の本市への立地ニーズのアンケート調査等、事業用地等マッチング推進事業の運用などにより、企業誘致の推進を図っている。

今後は、奨励金等の各種支援策に係る社会状況等の変化に応じた見直しを行うとともに、関係部局と連携し、川越市総合計画における土地利用想定箇所に民間開発を誘導することで新たな産業用地を創出することにより、雇用創出効果や市内経済波及効果の高い企業の誘致に取り組む必要がある。

【基本施策2 販路開拓・拡大の推進】

現状は、川越ものづくりブランド「KOEDO E-PRO」に係る認定企業の発掘を継続して行い、多くの市内企業の製品・技術を認定しており、認定製品や技術のPR補助を行っている。また、ジェトロ埼玉貿易情報センターとの協働による市内事業者の海外への販路拡大、地域のしごと総合ポータルサイトによる地元企業に係る情報提供なども行っており、市内外への発信力も高まっている。

今後は、川越ものづくりブランド「KOEDO E-PRO」の申請件数が年々減少傾向にあることから、制度の周知や企業の掘り起こしを行うとともに、「川越市補助金に関するガイドライン」に基づく認定製品等に係るPR補助金の見直しを行う必要がある。また、ジェトロ埼玉貿易情報センターとの協働方法の検討や需要の確認を行うとともに、閉鎖した地域のしごと総合ポータルサイトに代わる新たな企業支援情報の発信方法について検討する必要がある。

【基本施策3 環境の変化に対応する取組への支援】

現状は、DXに係る取組として、埼玉県DX推進支援ネットワークへ参画しており、参画している関係機関等が実施する事業に関する情報提供を行っている。また、環境経営については、「エコアクション21認証・登録研修会」を開催して、参加事業者の認証登録を行うなど、川越市独自の取り組みを行っている。

今後は、市独自のDXに係る取組について、川越商工会議所などの関係機関との連携を図りながら、検討・実施していくとともに、事業者ごとに抱える課題が大きく異なることから、それぞれの課題に応じて求めている情報を事業者等への確に伝える必要がある。また、「エコアクション21認証・登録研修会」を引き続き開催し、参加事業者数の確保及び認証取得事業者の増加を図ることにより、脱炭素社会の実現に向けて取り組む必要がある。

基本目標4 産業間連携と地域資源の活用等による新たな価値の創造

(1) 進捗状況及び傾向

項目		基準値※1	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
進捗状況及び傾向		(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R7)
市内総生産額 (億円/年)		12,610 (H30)	12,705 (R2)	14,651 (R3)	13,533 (R4) ※2	14,159 (R5) ※2	13,008
	基準値から増加し、目標値を達成した。						

※1 埼玉県市町村民経済計算の結果を基準値として設定。計画策定時における最新の値を掲載。
※2 最新の値である埼玉県市町村民経済計算（R5）の値を掲載。なお、各年度における実績値は公表時の値であり、その後の補正については反映していない。

(2) 現状と今後の方向性

【基本施策1 産業間連携の推進】

現状は、「おいしい川越農産物提供店」の認定に係る取組として、おいしい川越スタンプパスポートや各種イベントを実施するとともに、川越産農産物ブランド化事業と連携してブランド化、生産・流通の促進などを行っている。川越市産業観光館（小江戸蔵里）では、地域で育まれた農産物等の食材を使用した食の提供や特産品の提供を行っている。異業種交流の促進については、かわごえ産業フェスタへの出展を通じた異業種交流の促進を図っている。かわごえ産業フェスタについては、商業、工業、農業、観光に関わる団体や企業が出展し、さまざまな業種の事業者が交流できる場を提供している。
今後は、「おいしい川越農産物提供店」については、スタンプパスポートやイベントの実施などにより更なる制度の周知を図りつつ、川越産農産物地産地消推進事業との連携により、川越産農産物のPRにもつなげていく必要がある。川越市産業観光館（小江戸蔵里）については、地産地消の推進を図ることができるイベントの開催などについて、指定管理者との連携により取り組む必要がある。異業種交流については、かわごえ産業フェスタへの出展だけでなく、どのような異業種交流が可能か検討する必要がある。かわごえ産業フェスタについては、開催内容の見直し及び費用の削減など、効果的な開催に向けて検討する必要がある。

【基本施策2 地域資源の活用】

現状は、地域資源の発掘・情報発信については、文化創造インキュベーション施設「コエトコ」が開設し、地域との連携、文化財としての情報発信や創業者の支援を行っている。また、川越らしい本物にこだわった魅力ある地域産品を「川越セレクション」として認定し周知することで、川越全体のイメージを高め、地域産品の向上及び普及や新たな地域産品の開発を促している。川越産農産物のブランド化については、イベントへの出店、SNSを活用した取材やイベント情報の投稿、ロゴグッズの配布などにより、周知や啓発に取り組んでいる。
今後は、地域資源の発掘については、さまざまな主体からの情報を積極的に収集するとともに、情報発信については、川越市産業観光館（小江戸蔵里）に加え、コエトコやりそなコエドテラスなども活用しながら、地域資源の認知の向上などに取り組む必要がある。川越産農産物の消費拡大については、一時的な売上の向上ではなく、継続的な川越産農産物のPRやイベント等を通じて地産地消につながるような取り組みとしていく必要がある。

【基本施策3 関係機関との連携】

現状は、各々の施策の推進や事業の実施にあたり、これまで連携してきた関係機関等にとどまらず、新たな相手方との連携を図ることができている。
今後も、さまざまな関係機関との連携を図りつつ、連携事業の実施などによる具体的な成果を出すことができるよう取り組んでいく必要がある。

【進捗状況及び傾向】

傾向				
内容	目標値に到達または目標値を超えて進捗	目標値に向かって順調に進捗	基準値と変わらないまたはほぼ横ばいで進捗	基準値より悪化または減少して進捗